

令和4年度 第2回社会教育委員会議 概要

日 時： 令和4年7月19日（火）午後2時30分～午後4時30分

場 所： 逗子市役所5階 第4会議室

出 席： 角田委員（議長）、荻村委員、池上委員、小林委員、
佐藤委員、峯尾委員、長坂委員、桑原委員

欠 席： 栗津委員

事務局： 社会教育課 佐藤課長、川嶋係長、匂坂、中村（記録者）

傍聴者： なし

資 料：

- | | |
|--------------------|-------|
| 1 令和4年度社会教育課主催講座一覧 | [議題1] |
| 2 総合計画の改定について | [議題2] |
| 3 アンケート用紙変更案 | [その他] |

（参考資料）

- 4 社会教育推進プラン評価シート
- 5 県社会教育委員連絡協議会 総会資料

- 開会
- 教育長挨拶
- 委員、事務局紹介
- 資料確認

●報告事項（1）教育委員会定例会について

○事務局より説明。

○事： 5月の定例会において、社会教育推進プランの改定時期を1年延期することを報告

し、了承されている。改定作業にかかる具体的なプランを市民協働課と調整の上、今後報告する。

●報告事項（2）県社会教育委員連絡協議会 総会について

○事務局、及び当日出席した2名の委員より報告。

○事： 配布された資料が大変有意義だった。社会教育推進プランの改定議論の時に参考になると思うので、委員の方々は目を通していただきたい。

●議題（1）令和4年度社会教育課主催講座について

○事務局より人権教育等事業・各種講座（現代的課題、地域の課題、地域活動）事業・家庭教育推進事業・社会教育出張講座事業の各講座内容について説明。質疑応答。

○委： 以前より共催講座が多くなったが、今後も増やしていく方針か。

○事： 人権講座は市長部局の人権担当である市民協働課と協力することで、より集客や内容の充実が図れることを期待している。また今年度制定された、逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例を広めたいという意思もある。市民交流センターとの共催は、生涯学習に関する自主事業を実施しており、その事業内容が社会教育講座とほぼ変わらないこと、及び社会教育講座は学習機会の提供は実施してきているが、育成した人材のフォローアップができておらず、市民交流センターがそれを得意とすることから、共催することで事業効果が高まることを期待している。今後の方針を定めたわけではなく共催することで、どのような成果があるか検証していく。

○委： 逗子の恵まれた自然・歴史・文化財に触れる講座が、座学以外のフィールドワークの形であるのは良い。逗子の防災などのジャンルでも試してほしい。

●議題（2）総合計画の改定について

○事務局より説明

○事： 社会教育と生涯学習のあり方について、総合計画の改定の中にどうやって組み込んでいくか。また、具体的な評価指標の案など、委員にご意見を伺いたい。今回の改定の大きな所は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を総合計画の中に取り込んで一体化させることで、計画の二重性の解消を図る。また、リーディング事業は設定しない。5本の柱の第2節「共育のまち」のうち、取り組みの方向1の生涯学習と取り組みの方向5の社会教育（図書館事業も含む）の内容が重複しているのでこれを取り組みの方向1ひとつにまとめる。但し文化財保護は取り組みの方向5に残す。評価指標は数値的な目標を掲げる必要があるが、どういう数値が相応しいか、ご意見を伺いたい。

○委： 評価指標を数値で表してそれを事業の判断材料とするのは難しい。数値が低いからといって必ずしもその事業が必要のないものとは限らない。数値で表せられないものもあるのではないか。

○事： 総合計画を作る上で数値は必要と考えている。

○委： アンケートで集計した定員充足率や満足度の数字は、ある程度の判断材料になると思う。別件で、統合計画基本構想改定案文中に生涯教育の言葉はあるが社会教育の言葉は入ってない。あった方が分かりやすいのではないか。

○事： 文章については、意見を踏まえ調整していく。

○委： 年間の講座の開催数も一つの評価指標になると思う。

○委： 今までもアンケートを頻繁に行い具体的な数値は取っている。それによって評価はされていた。この数値だけでは見えない「質」について分かる指標も必要ならば、アンケート方式などの検討はあり得る。

○委： 講座の質的な部分を知りたいのであれば、アンケートに記述項目を増やしていくことも必要。また、受講した人達が今後も受講内容を生かしていけるかも質的な評価になるのではないか。受講生のフォローアップを行い、ヒアリングの調査などを実施できると質的なものの補完になるのではないか。

- 委：文化財事業で文化財の数が指標になっているが、そうそう増えるものではないので難しいのではないかと。文化財施設などの来場者数なども加味したほうがよいのでは。
- 事：現総合計画の中でも具体的な数値はないが、文化財の数が増加していくことは目標として掲げている。来場者数は来場できる期間や場所が限定されたものが多いので、集計が難しいところがある。その中で昨年、池子神明社の神輿を文化財として増やすことができた。毎年、文化財の指定ができるとは限らないが、目標として掲げるのは無理ではない。
- 委：文化財に関しては、近隣市町の社会教育課と連携して講座を行うのも一つの案だと思う。
- 事：本日、委員からいただいた意見をとりまとめ、総合計画を検討していきたい。

●議題（3）アンケート様式の変更について

- 講座で使用しているアンケート様式の変更を希望することについて、事務局より説明。
- 事：現在使用しているアンケートは項目が多くて字が小さく、今はあまり必要としない質問もある。もっと気軽に答えてもらえる時代に沿ったコンテンツの導入や、今は聞く意義の無い項目を削除した様式を考案した。委員会の了承が取れば、次回から使用したい。
- 委：現在使用しているアンケートの項目の問題点は何か。
- 事：大きな所では「今後、受けてみたい講座は？」の項目がこちらの提示しているジャンルの選択式になっており、これでは受講者が本当に思う具体的な内容が分からず、あまり参考にならない。「受講しやすい会場について」の項目も同様と考えている。
- 委：「今後、受けてみたい講座」を記入式にするのであれば、テーマ・内容・講師なども記入してもらえる項目タイトルにしてみても良いと思う。

○委：時代にそぐわない項目としては、性別を問う項目も無くした方が良い。この様な提言を社会教育課から発信するのは、非常に意味がある。

○事：本日、委員からいただいた意見を取り入れ、アンケート様式を作成し報告するというところでよろしいか。

○委：（了承）

●その他

次回、第3回教育委員会議は、11月8日（火）14時30分より開催。

●閉会

委：は委員、事：は事務局が発言した内容。